

連携強化で期待が高まる 畜産振興センター



菊池 充 議員
(無党派)

職員は、遠野市・花巻農業協同組合・東南部農業共済組合・畜産振興公社の畜産関係4団体の協力により畜産プラザ遠野を設置した。ワンストップ化に向けた推進組織としてマンパワーの充実と活用による新たな推進体制を構築していく。新しい生産振興施策の創設については、放牧助成等と併せ、全体での振興施策の中で検討していきたい。

【その他の質問】
職員は、遠野市・花巻農業協同組合・東南部農業共済組合・畜産振興公社の畜産関係4団体の協力により畜産プラザ遠野を設置した。ワンストップ化に向けた推進組織としてマンパワーの充実と活用による新たな推進体制を構築していく。新しい生産振興施策の創設については、放牧助成等と併せ、全体での振興施策の中で検討していきたい。

問 一次産業の中でも、最も高い生産額を占める畜産の振興策についてこれまで4つの対策を示しているが、その経過と今後の対応策について伺う。

答 公共牧野の一元化については、平成20年度の公共牧野の統合により、料金管理一元化を図った公共牧野の運営について、利用者からは牧場施設及び草地などの改善、事故発生時における対応の改善が強く求められており、施設の整備や

職員の資質向上に努めている。放牧事業の支援については、公共牧場の一元化に併せ、生産支援策として放牧使用料の一部助成を実施してきているが、条例で平成22年度までとなつている。廃止若しくは継続については、平成22年度中において生産現場の状況等に鑑み、検討していきたい。草地基盤再編調査の推進については、現在国がまとめた基本調査を元に、遠野市における畜産振興施策の方向と手法を整理し、農林水産振興ビジョンに反映しているところである。新年度に向けても参入意欲のある企業との連携について、公共牧野の利活用も含めて協議を進めていく。畜産総合セ

問 道路交通基盤の整備で迷岡線、高館線の改良計画について伺う。

答 平成22年度から迷岡線については全体延長6,300m。のうち2,000mを、高館線につ



期待高まる遠野市畜産総合センター